

広報誌

つくし

発行日 2024年3月1日発行

第49号

目次

地域オープンセミナー	2
全日本病院学会in広島	3
日本難病医療ネットワーク学会学術集会	3
医療の質・安全学会学術集会	4
神経難病医療従事者研修	4
精神科デイケア活動報告	5
通所リハビリテーションのご案内	6
診療のご案内	8



令和6年度に向けて

医療法人つくし会 理事長

南国病院 院長 中澤 宏之

新型コロナウイルス感染症は令和5年5月に5類感染症へと移行し社会全体が一定の落ち着きを取り戻しましたが、現在も周期的に感染拡大を繰り返しており、日常診療への影響が続いています。職員、関係機関の皆様は多くの期待を抱きながら新たな年を迎えたことと思いますが、1月1日に能登半島地震が発災、2日には羽田空港の航空機事故が続き、まさに有事で始まった新年となりました。能登半島地震で犠牲になられた方々には心よりお悔やみを申し上げ、被災され現在も避難生活を強いられている方々にはお見舞いを申し上げます。

令和6年3月に予定通り介護療養病棟が廃止され、4月には診療報酬、介護報酬、障害福祉報酬のトリプル改定が行われるとともに、医師の働き方改革、かかりつけ医機能報告制度も始まり、多くの民間病院がこれらの諸課題への対応を求められます。今回の診療報酬改定では、医療従事者の賃上げが目玉となり、診療報酬の増額分を各職種の給与のベースアップに配分するなど、これまでにない対応が加わります。職員の皆さんの日頃の頑張りが評価され、地域に選ばれる病院となるようしっかりと体制を整えたいと思います。

今年は、県外出張や各種講演会・研修会の現地参加が可能な社会状況になっていますので、各部署で学術研修活動を積極的に再開してもらえと思っています。また、令和6年度からは「精神障害者アウトリーチ推進事業」を高知県から受託し、精神障害を持ちながら未治療の方、治療が中断した方などを受診につなげ地域生活が維持できるよう、新たな取り組みを始めます。これまで以上に在宅医療の支援体制が充実するよう、当法人の通所リハビリ、訪問看護・リハビリ、精神科デイケアの役割、機能を広く知って頂き、地域の皆様のお役に立てるよう職員一同努力してまいります。

最後になりましたが、令和6年度が皆様にとって充実した一年となることをお祈りいたします。

新型コロナウイルス感染防止のための面会制限措置に付きまして、患者様、家族様の多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございます。
今後の感染状況により、面会方法が変更になりますので、詳細はホームページにてご確認ください。

医療法人つくし会 南国病院 第7回 地域オープンセミナー

2023.12.2(土)

南国病院 在宅医療支援センター・センターホール

「脳神経内科に多い疾患、パーキンソン病とてんかん発作について」

講師 医療法人つくし会 南国病院
脳神経内科顧問 古谷 博和

学術研修委員会委員長

副院長・精神科部長 玉元 徹

この度の地域オープンセミナーは、古谷博和先生の単独講演となりましたが、動画をふんだんに使用されて非常にわかりやすく、神経疾患に関することながらもかかわらず多くの人が興味をそられるような内容でした。ヒトラーが晩年パーキンソン病を発症したのだらうという貴重な映像もあり、まるでテレビ番組のドキュメント映像を見ているようで、座長であった私でさえも身を乗り出して食い入るように話を聞いておりました。また、聴講されている方々の中にはパーキンソン病の患者さんもおられまして、その方の質問もかなり多く、すべて古谷先生が丁寧にお答え下さったことはとても有意義だったと思います。古谷先生には非常に感謝しております。私の母校の大学では神経内科の講義がとても難しく、私は興味はあってもなかなかのめり込むほどにはなれませんでした。古谷先生のような教授が居られたらもっと興味が深まっていたものと思いますので、高知大学出身の先生方に対してはとてもうらやましく思いました。

以前はわざわざ遠くから講師をお呼びして地域オープン

セミナーを開くことが多かったのですが、脳神経内科顧問で常勤医として古谷先生が当院に就任されていたことが当院にとって非常に幸運だったと感じました。また数年後に古谷先生の講演をもう一度地域オープンセミナーでお聞きするためにお招きできればと考えておりますので、宜しくお願いします。



アンケートより

- 症状の説明のあと動画があり、とても分かりやすく理解できました。言葉と動画で症状が理解できました。是非、次回も参加させて頂きたいです。
- とても分かりやすい説明で、楽しく学ばせて頂きました。看護学校で学んだ知識より、随分と治療も変わっていたので、参考になりました。訪問看護で利用者様の異常に早期発見に繋げる事ができるよう、本日のオープンセミナーで学ばせて頂いたことを活かせればと思います。
- パーキンソン病について、介護現場で役立つ知識があり勉強になりました。高齢化となり、アルツハイマー型よりパーキンソンからの認知症が多くなることなど、今後の仕事に活かして行きたいと思います。
- パーキンソン病について、名前しか知らずにいましたが、専門的にきちんと説明して頂きよく分かりました。ありがとうございました。てんかんの事も、大変分かりやすく有難かったです。前回も参加させて頂きました。今回も参加させて頂き、とても良かったです。ありがとうございました。



第64回 全日本病院学会in広島

2023.10.14(土)～15(日)

ホテルグランヴィア広島/広島コンベンションホール/広島県医師会館

「未来の子どもたちへ～脱高齢ニッポン!～」

看護部長代行兼3病棟師長 小松 匡輔

2023年10月14日(土)に第64回全日本病院学会が広島のホテルグランヴィア広島・広島コンベンションホール・広島県医師会館の3会場で開催されました。

今回、全日本病院学会は初めてであり大変楽しみに参加させていただきました。テーマは「脱高齢化」ということで社会保障制度全般の改革が課題ということでした。会場がいくつもあり、同時に開催されているため聞きたい講演が重なると一方しか聞けない状態であり歯がゆい思いでした。多くは看護の発表を聞きましたが、経営や診療報酬のことや外国人受け入れ、マネジメントのICT化など聞きたい内容が多くあり看護分野と重なっており聞くことができず残念でした。



全日本病院学会とあって医療業界全体の多岐にわたる内容で、どれを聞か迷うことが多かったです。興味深いと思った演題は、「看護師と看護補助者との協働推進に向けた取り組み」では今後、看護補助者がどんどん少なくなり看護師の負担が増強する懸念があります。そのためタスクシフト/シェア業務が必要となりさまざまな工夫が必要不可欠となります。自病院もなかなか看護補助者が得られない状況なので考えていく必要があると思いました。

この学会に参加して今の医療業界が抱えている問題や、解決に向けてさまざまな視点を得ることができました。

今回、前泊し広島観光をしてきました。お好み焼きや牡蠣などを食べていいリフレッシュとなりました。学会及び懇親会にも参加させていただき、ありがとうございました。

第11回 日本難病医療ネットワーク学会学術集会

2023.11.24(金)～25(土)

愛知県産業労働センター

「難病医療ネットワークの新たな時代、新たな挑戦」

外来看護師長兼地域連携・医療相談室長 國本 美香

コロナ禍で学会や研修がご無沙汰となっていました。2023年11月24日、25日に愛知県で開催された第11回日本難病医療ネットワーク学会に参加させていただきました。最近改まった格好をする事がなく、まず「着て行く物探し」から始まり、何とか着ていけそうな綺麗目の服を発掘しました。飛行機に乗るのも4年振りで緊張マックス、そんなこんなで愛知県まで若者の後をつけて回り会場にたどり着きました。会場に到着すると、何となく感覚も戻り、こんな感じだったなあと懐かしみながら自分の興味ある演題の会場へ分かれ拝聴する事となりました。



神経難病と聞くと不治の病で終末期のイメージが強く、治療や研究も進んできており進行を多少遅らせる治療はありますが、完治する事は残念ながらありません。他の疾患に比べ、倫理的問題や課題もたくさんあります。いずれは辛い究極の選択をしなければならないため、まず自己決定ができる時点で今後の事を考えておく必要があります。悲観して死を望む難病患者さんに対し、医療者がどのように対応していくかという講演を拝聴しました。色々な考え方があり結局答えは無いのですが、自分の意思や家族の思いなど納得がいくまで十分話し合う事、そしてそれを伝えていく事が一番大切であると思いました。自分の人生なので後悔しないよう、自分の意思に反した望まない治療を受け入れていく事にならないためにも、少しでも患者さんの思いに添った看護ができるようにサポートしていきたいと思いました。

講演や研究発表を拝聴し、2日間美味しい物を食べ、他職種のスタッフと交流しリフレッシュさせて頂きありがとうございました。

第18回 医療の質・安全学会学術集会

2023.11.25(土)～26(日)

神戸国際展示場/神戸国際会議場 「世界はチームでできているー多様性の森へようこそー」

医療安全対策室 臨床工学技士 森本 直樹

この学会には以前からよく参加させて頂いており、今回は私と病棟師長1名・病棟主任2名の計4名で参加しました。私にとってはコロナ流行以降、久しぶりの現地開催での学会参加となり、非常に有意義な時間となりました。

様々なテーマの講演がある中で、一番印象に残ったのは、「医療者と患者さんとの認識のズレ」についての講演でした。例えば、医師が言う「当院で出来る限りの事をさせていただきます」という言葉は、医師は「なるだけ当院で治療します」という意味で言っている、患者さん側は「なら、対応が出来ない事もあるのか？それを判断してほしい」と思っている可能性もあり得えます。この場合、医師の関心事は「治療」になりますが、患者さんにとっては「判断」であり、認識のズレが生じてしまっています。理想としては、看護師など第三者も同席し、後で聞きたい事があれば、同席した者から補足説明が出来るような体制を取っておく事が、後のトラブル防止に重要との事でした。

医療者側と患者さんとの認識のズレは、少なからず存在するもので、認識の違いがあり得るという事を念頭に入れながら、それを減らそうとするための努力が、医療者側には必要になります。

す。また患者さん自身も「自分の意見や思いが、医療者側にきちんと伝わっているか？」ということを気にかけておく事も必要なかもしれません。医療者側と患者さん、双方の協力が、医療安全を保つために必要なのだと感じました。



神経難病医療従事者研修

2023.10.16(月)～17(火) 7名

2023.11.20(月)～21(火) 7名

主催：高知県健康政策部健康対策課

2病棟看護主任 岡本 めぐみ

当院では神経難病患者への理解と生活の質向上につながる支援方法を学ぶことを目的に、平成19年度から基幹協力病院として高知県の委託を受け研修を実施しています。今年度は、合計14名の看護師が受講され、当院の神経内科専門医・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床工学技士・管理栄養士・看護師が担当させて頂きました。今年度は初めて主となり携わるスタッフも多く、受け入れるにあたり「自分たちならどんな研修を見て・聞きたいか」「各講義時間は適切か」「伝わりやすい内容か」「休憩はどこで何分するか」など分単位で打ち合わせし、研修計画を構成しました。いざ研修が始まると私の方が緊張し、細やかな所が予定通りにいかず、ご迷惑をおかけすることもありました。しかし、私も受講生や研修担当者

から学ぶことが沢山あり、一緒に勉強させてもらう事で緊張感が和らぎました。

多職種が関わる研修という事もあり、受講者から「現在」の困りごとを直接専門職に質問する機会になり、ケア内容や移乗方法、呼吸器の取り扱いなど質問が飛び交っていました。実技参加型の研修なので、参加者同士の交流も見られ、他施設での取り組みや日々の悩みなど情報共有の場にもなったのではないかと思います。神経難病患者を支えるには、多職種連携を重視し、きめ細やかな支援が必要です。今「私達だからできること」と考え、試行錯誤しながら個別性をもった関わりを目指したいと思います。今回参加して下さった受講者の方々と今後も連携を図り、サポートし合える事を願っています。

第40回 刃物まつり&山田のかかしコンテスト

2023.10.14(土)～10.15(日) 高知県立鏡野公園

主催:香美市商工会・刃物まつり実行委員会

精神科デイケア室長

精神保健福祉士 竹村 哲也

コロナ禍をえて3年振りに参加した、かかしコンテスト。作品作りのテーマはアートプログラムの時間に話し合い「医療とA・I」に決まる。未来の医療はA・Iロボットが人間を診るかもしれない話が盛り上がり、人間はひじを痛めた大谷翔平となる。木材で骨組みを作り、新聞紙等で肉付けし、細かな部分を修正しながら色を塗る。手芸が出来る方にユニフォーム等を担当してもらった。仕上がった作品を前日に搬入したが、コロナ禍前に比べ出展数は三分の一程に減っていた。出展数が減った分、入賞に期待したが参加賞としての特別賞を頂いた。刃物まつりのイベントの一つであるかかしコンテストには今後も参加を続け、また、精神科デイケア活動の一環として地域のイベントには積極的に足を運びたい。



メンバーT・Kさんより

かかし2体を作ったが、どちらも特徴のあるかかしになって良かったと思う。刷毛を使って洗濯のりで体を塗ったが、けっこう楽しく出来た。全体的に見たら、ちょっとおもしろい感じになっていたと思う。かかしの製作は評価はまあまあだった。

まきのさんの道の駅 佐川

2023.10.24(火)

高岡郡佐川町

精神科デイケア室 看護師 藤尾 礼華

2023年6月にオープンした佐川町にあるまきのさんの道の駅へ10月24日行ってきました。コロナウイルス感染症があり、お弁当を持っての外出プログラムは3年ぶりでした。仁淀川の橋の下でお弁当を食べ、まきのさんの道の駅へ。入口には牧野夫妻の顔出しパネルが置いてあり、普段あまり笑わない利用者の方の笑顔も見られました。コロナウイルスやインフルエンザウイルスも流行していますが、久しぶりの外出プログラムを楽しみました。今後も感染症に気を付けながら、活動していきたいと思えます。

メンバーKさんより

佐川町のまきのさんの道の駅に行きました。「らんまん」のためか、かなりのにぎわいでした。建物は新しくきれいでデザインも面白みがあり、写真を撮りつつか撮るなどして楽しい時間を過ごせました。



第16回 フレンドCUP高知

2023.12.8(金)

高知市東部総合運動場体育館くろしおアリーナ

主催：高知県社会福祉協議会 高知県立障害者スポーツセンター

精神科デイケア室 精神保健福祉士 井上 貴世

精神科デイケアでは、12月8日にくろしおアリーナで開催されたフレンドCupに3年ぶりに参加しました。

ボッチャ4チーム、卓球個人戦に2名参加しています。残念ながら入賞することはできませんでしたが、栄養士さんに準備して貰ったお弁当を持参し、久々に他施設との交流もでき充実した時間になった事と思います。

メンバーOさんより

緊張感があつたが、充実した1日だった。今後は腕をもっと磨いて上位を狙いたい。商品はうんといいいのがえいな。



通所リハビリテーションのご案内

南国病院通所リハビリテーション室長 池上 司



「通所リハビリテーション」とは、要介護の状態となった方が療養や退院後の機能回復を目的に、介護老人保健施設や病院などの医療施設に通いながら生活機能を向上させる訓練や食事、入浴などの生活支援を受ける施設のことを指します。通所リハビリテーションと似たサービスのひとつにデイサービスなどもあげられますが、通所リハビリテーションは医療やリハビリに特化している点が特徴です。そのため、施設には医師やリハビリ専門の職員がおり、リハビリはもちろんのこと診察や健康管理も行っています。また、リハビリの内容に関しては医師の指示書をもとに計画書が作成され、それに基づいたリハビリが行われるため、利用者様一人ひとりにあったリハビリを受けることができます。

南国病院通所リハビリテーションでは、パワーリハビリテーションといわれるマシンを主としたリハ



お試し利用
半日可能

サービス内容

- ①健康管理
- ②理学療法士による個別リハビリテーション
- ③入浴
- ④送迎
- ⑤食事の提供
- ⑥レクリエーション

ビリテーションを行うことにより、日常生活動作の向上や介護の軽減をはかり、利用者様とご家族の生活を充実したものにしてお手伝いをさせていただきます。また、利用者様個人の尊厳を大切にし、開放的な雰囲気の中で利用者様同士お互いの親睦を深め、日常生活を豊かにし社会参加につなげていければと考えています。

	南国病院 <u>通所リハビリテーション</u>	デイサービス
役割・目的	<ul style="list-style-type: none"> ●介護認定を受けた方で、医師から適度な運動を進められている ●生活機能を向上させる訓練 ●生活習慣を改善したい ●寝たきりになりたくない ●社会交流の場を増やしたい など 	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活を介助する ●ご家族の負担を軽減する <p style="text-align: center;">デイサービスでは物足りないなあ!</p>
主なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ●パワーリハビリテーションというマシンを使用した機能訓練 ●理学療法士による日常生活動作訓練 ●健康管理、食事・入浴などの生活支援 など 	<ul style="list-style-type: none"> ●レクリエーション ●軽い体操 など
担当者	● <u>医師、理学療法士、看護師、介護福祉士、介護職員</u>	●看護師、介護福祉士、生活相談員



半日コースや
1日コースです
ゆったりと
過ぎて頂きます

サービス提供日

月曜日～土曜日
(但し、祝日、
12月30日～1月3日を除く)

サービス提供時間

午前8時45分～午後4時15分

利用時間・対象者

介護度	午前コース (9:30～11:30)	1日コース (8:45～16:15)
要支援1の方	○	×
要支援2の方	○	○
要介護の方	×	○

一日の過ごし方

8:30	お迎え開始	職員がお迎えにまいります	
9:30	バイタルチェック	血圧・脈拍・体温などの健康チェックを行います	
10:00	リハビリテーション 入浴	体操・パワーリハビリ・個別リハビリなど	
11:45	昼食・休憩	直営食堂にて管理栄養士によるバランスの良い食事を提供します	
13:30	リハビリテーション	パワーリハビリ・個別リハビリ・手作業など	
15:00	レクリエーション	日替わりで行います	
15:30	おやつ	飲み物とおやつをお出しします	
16:15頃	お送り	(昼食代1食630円、おやつ代1食110円)	

※ 介護保険制度の要介護認定(要支援・要介護)を受けられた方が対象です。介護度により、利用できるコースが異なります。

※ ご利用は、担当の介護支援専門員(ケアマネジャー)を通じてお申込みください。

※ 事前にご連絡をいただければ、見学も可能です。お気軽にお問い合わせください。

※ ご利用いただける地域、送迎地域に関しましては、当施設にご相談ください。



診療のご案内

ホームページもご覧ください
<http://www.nankoku-hp.or.jp/>

◆脳神経内科 ◆精神科
 リハビリテーション科
 ◆内科 ◆消化器内科
 ◆放射線科

休日診療 なし（但し急患は診療いたします）
 予約診療 全科予約診療となっております
 救急指定 なし

診療時間
 月～金 午前 8:30 ～ 12:30
 午後 1:30 ～ 5:00
 土 午前 8:30 ～ 12:30

健康診断 特定健診、胃がん検診(胃内視鏡検査)
 面会時間 感染状況により、面会方法が変更になります。
 詳細はホームページにてご確認ください。

診療科/曜日		月	火	水	木	金	土
午前	脳神経内科	古谷	中澤	吉村	中澤	古谷	中澤
	精神科	藤田	石田	玉元	玉元	上村※3 (もの忘れ外来) 中村	中澤
	消化器内科 内科	速瀬	速瀬	麻植(啓)	速瀬	速瀬 麻植(啓)	速瀬※1 麻植(啓)※2
午後	脳神経内科	古島	古島	吉村※4 古島※5	古島		
	精神科	玉元 赤松	玉元	石田		石田	
	消化器内科 内科	速瀬	麻植(淳)	麻植(啓) 麻植(淳) (禁煙外来あり)	麻植(淳)	速瀬 大西	

備考

※1 速瀬医師の土曜日の診察は、第1・第3土曜日です。
 ※2 麻植(啓)医師の土曜日の診察は、第2・第4・第5土曜日です。
 ※3 上村医師(もの忘れ外来)の診察は、第2・第4金曜日です。
 ※4 吉村医師の水曜日午後の診察は、第2・第4水曜日です。
 ※5 古島医師の水曜日午後の診察は、第1・第3・第5水曜日です。

■認定・指定

日本神経学会准教育施設
 日本精神神経学会精神科研修施設
 日本老年精神医学会認定施設
 高知県神経難病医療ネットワーク基幹協力病院
 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設

理念

1. 安全で質の高い医療によって地域に貢献します。
2. 信頼関係に基づき暖かい医療を提供します。
3. 専門性を追求し自己研鑽に努めます。

■病床数

162床
 46床 2病棟 特殊疾患病棟(I)
 56床 3病棟 特殊疾患病棟(I)
 60床 5病棟 精神一般病棟(15対1)

基本方針

1. 病院が地域の社会資源であるとの認識に立ち、本院の専門性を通して、地域の医療と福祉に貢献します。
2. 本院は、脳と神経及び精神の疾病や障害を主な診療対象として、その神経学的、精神医学的診断、治療と臨床的研究に努めます。
3. 個々の患者とその家族への十分な説明とそれに基づく納得の上での同意を前提として診療を行います。
4. 本院での医療行為は、科学的根拠に基づき、自由で暖かい生命倫理に立って行います。医療環境が常に清潔で、明るく保たれる様努力します。
5. 本院の職員は、常に自己の資質と医療技術の向上に努め、病める人々への奉仕者としての自覚を持ちます。

■診療実績 2023年4月～2024年1月

外来患者数	22,512 名
(内新患者数)	721 名
1日平均入院患者数	150.9 名
精神科デイケア利用者総数	4,365 名
通所リハビリテーション利用総日数	2,927 名
訪問看護ステーションおそね訪問延人数	5,510 名

発行元/医療法人つくし会 南国病院
 発行責任者/中澤 宏之(院長)

〒783-0004
 高知県南国市大埴甲1479番地3

電話 (088) 864 - 3137 (代表)
 F A X (088) 863 - 3070
 (088) 802 - 8618 (地域連携・医療相談室)

